

令和6年第3回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和6年5月8日（水曜日）		開会	9:56		会議場所		別海町議会 委員会室4	
				閉会	11:30					
委員の出欠		4 番	伊勢 徹	出席	5 番	貞宗 拓雄	出席	7 番	横田 保江	出席
		11 番	今西 和雄	出席	12 番	松原 政勝	出席			
出席説明員	産業振興部	産業振興部長		産業振興部次長		農政課長		商工観光課長		
		佐々木栄典	出席	小野 武史	出席	皆川 学	出席	掘込 美穂	出席	
		水産みどり課技術主幹		商工観光課主幹		農政課主査		農政課主査		
		古里 達也	出席	上杉 大洋	出席	金澤 亮太	欠席	山下 真弘	出席	
		農政課主査		水産みどり課主査		水産みどり課主査		商工観光課主査		
		西郷 博之	出席	岩光 信幸	出席	池田 友和	出席	松本 芳樹	出席	
		農政課主任								
		志村 洸平	出席							
	建設水道部	建設水道部長		建設水道部次長		建設水道部次長		建築住宅課長		
		外石 昭博	出席	新堀 光行	出席	田畑 直樹	出席	廣島 静治	出席	
		事業課長		上下水道課技術長		管理課主幹		建築住宅課主幹		
		佐竹 和仁	出席	袴田 充輝	出席	入田 浩明	欠席	篠田 敬介	出席	
		事業課主幹		事業課主幹		上下水道課主幹		上下水道課主幹		
		前道 陽司	出席	板垣 正博	出席	西田 和弘	出席	植松 拓也	出席	
		管理課主査		建築住宅課主査		建築住宅課主査				
		大滝 毅	出席	伊井 崇史	出席	志渡 正勝	出席			
	農業委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主幹				
		川畑 智明	出席	大山 晋作	出席	成瀬 広子	出席			
委員外の出席		議長	西原 浩					合計	1名	
事務局職員		局長	干場 富夫	主幹		木幡 友哉		合計	2名	
傍聴者数		議員	0名	報道関係者		0名		合計	0名	

令和6年第3回産業建設常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 11番 今西	9:56 開会
	出席委員5名、欠席委員0名、委員外1名、会期1日
委員長 11番 今西	挨拶
	【農業委員会職員紹介】
事務局長 川畑	挨拶及び職員紹介
委員長 11番 今西	9:58 農業委員会終了 休憩
委員長 11番 今西	10:05 再開
	【産業振興部所管事務調査】
委員長 11番 今西	挨拶
産業振興部長 佐々木	挨拶、職員紹介及び概要説明
	- 今年度の開催決定イベントについて報告。 5月12日に別海漁協のホッキ市、5月27日～29日、6月6日～8日まで潮干狩りフェスティバル、6月8日に別海町植樹祭を開催。
委員長 11番 今西	議事1 所管事務調査について
	(1) 第7次別海町総合計画について
農政課長 皆川	資料により第7次別海町総合計画から令和6年度の農政課所管事業について内容を説明。
産業振興部次長 小野	資料により第7次別海町総合計画から令和6年度の水産みどり課所管事業について内容を説明。
商工観光課長 堀込	資料により第7次別海町総合計画から令和6年度の商工観光課所管事業について内容を説明。
委員長 11番 今西	質疑
委員 4番 伊勢	バイオマス産業都市構想策定事業について、どこに業務委託をするのか。
農政課長 皆川	入札になるので、どこになるかは分かりかねる。
委員 4番 伊勢	バイオマスについては、全道でやっていたが、円安で電気代が上がるなどし、事業停止になっている傾向。バイオマス事業の将来性などはどう捉えているか。
農政課長 皆川	それを明らかにするために今回次期構想の策定を行う。事業化に繋がるかどうかもあるが町内の未利用バイオマス資源を活用しながらどのようなことができるのかを構想の中で明らかにしていきたいと考えている。
委員長 11番 今西	地域おこし協力隊推進事業の中で指導員業務の委託と書いてあるが、それも含まれていると理解していいか。
農政課長 皆川	そうである。通常地域おこし協力隊員のほかに、研修牧場の指導員を募集する。予算としてはそうになっているが、4月からの指導員の任用は叶わない状況で、現在も募集はしているが、合致する方の応募がないことから手応えとしては難しいと感じている。
委員長 11番 今西	現職の地域おこし協力隊員が指導員として、ということではないということでもいいか。
農政課長 皆川	今いる地域おこし協力隊員が指導者となるということではなく、指導員候補者として地域おこし協力隊員を活用したいということになる。
委員 5番 貞宗	地域おこし協力隊が研修牧場で教育を受けて指導員としてやるのは分かるが、何十年も指導員をやっている人が100%できないものを3年の間に教えるのは半端なことではない。これに予算を取るのであれば、違った方法で募集したほうがいいのでは。
	全道でも研修牧場はできてきているので、どのように受け入れているのか調査してもいいのではないか。
農政課長 皆川	今の話はそのとおりだと思う。今回の地域おこし協力隊を活用することとなった経緯は、これまで指導員を募集してきた中で、なかなか見合った方が地域内にいない状況である

令和6年第3回産業建設常任委員会 要点記録

		ことから、広く全国から募集したところ。指導員の募集については、またいろいろな方法を模索しながら考えていきたいと思っている。
委員	4番 伊勢	・水産物加工品流通強化事業について、今期から新規で5年くらいと聞いていたが、町からも説明会に行ってもらい、尾岱沼の10数社の加工業者のうち数社しか集まらなかったと聞いた。その説明を受けた後、各社それぞれ構想は出ていないかもしれないが、感触、反響はどのような感じだったか。
水産みどり課主査	岩光	・尾岱沼と役場の2か所で説明会を行い、尾岱沼で数社、別海地区でも3、4社が出席した。その中で今後どの程度設備投資を予定しているかのアンケート調査を実施している。その回答期限が5月10日となっているので全ては揃っていないが、数社から返答がきている状況。
委員	4番 伊勢	・各社、大中小あるので、その規模に応じて、規模の大きいところは1億円でやりたいということもあるし、小さいところは1,000万円でもありがたいということもあることから、その整合性というか。
産業振興部次長	小野	・数社しかこなかったが、質問そのものは結構長い時間きたので、その中でも大中小それぞれの企業がある中でどういう配分をするのがフォーカスされた。我々としても10日の1回目の要望を踏まえてテーブルに乗せ、考えていかなければいけない。そこまで見なければ、なかなか見えてこない。 あとは、本事業は単年度で終わらせることは考えていないので、バランスを取りながら進めていきたい。1億円の設備投資が必要な場合もあれば数十万円の設備投資で済むこともあるかと思うが、皆さんが納得できるように、全ての皆さんが満足するのは難しいかもしれないがうまくバランスを取りながら事業配分をしていきたいと考えている。
委員長	11番 今西	(2) 水産系副産物再資源化施設の運営について
水産みどり課主査	岩光	・資料により水産系副産物再資源化施設の令和5年度運営実績及び肥料原料の処理状況・処理計画について内容説明。 肥料原料の処理計画については、これまで(株)アシストで焼却してきたが、水分量の問題があり新たな処分方法を模索してきたところ、町内の(株)リプロが再資源化による処分方法を確認したことから、今年度は焼却と再資源化を併用して処分を進める計画である。 現在ある肥料原料は来年度で処分を終える計画としている。
委員長	11番 今西	質疑
委員	12番 松原	・今年の計画では再資源化が1,000トンとなっているが、そのくらいの量が再資源化できるくらい確率は高くなったのか。
水産みどり課主査	岩光	・仕掛品として堆積していた肥料原料については、契約も終わり順次処分を進めている状況。 新たに発生しているホタテウロについては別な事業でこういった処分方法がいいかという議論も出ている。
産業振興部次長	小野	・再資源化が可能かについては、今年から初めてやることなので、全てが計画どおりいかは現状わからないが、なんとか1,000トンは再資源化できるのではないかとの見込みを立てている。 もし、1,000トンの再資源化ができない場合については、しっかりとまた検証を行いながら次年度の事業の中で生かしていきたい。
委員	12番 松原	・現状では1,000トンできる見込み。そのように委託している。
産業振興部次長	小野	・これは、今まで堆積されていたものを焼却、再資源化していくということで、新しく上がってくるものについても処理をできる可能性があるのか。
		・基本、ホタテウロの仕掛品については、今現状、令和3年12月から受入れをストップしているので、増えるということは考えられない。ただ、ヒトデの仕掛品は、肥料として販売しているので分からないが、これも当初の数量から増える見込みは立っていないので、計画どおり

令和6年第3回産業建設常任委員会 要点記録

委員 12番 松原	
産業振興部次長 小野	
委員 12番 松原	
産業振興部次長 小野	
委員 4番 伊勢	いけば令和7年度にはすべての仕掛品の処分が完了する見立てをしている。 ・とにかく、今までであったものを先に処分して、それから新しく上がってくるものにかかるということだが、その新しく上がってくるものについてはまだ未知数なところがあるのか。 ・おそらく仕掛品の処分とホタテウロの処分が一緒になってしまっているのかと思うが、現状ホタテウロに関してはこの施設で受入れをせず、紋別に運搬し処分している。これは運送費を町が補助しているが、このことから増えることはない。 ・新しいものについては令和7年度から手掛けするという理解でよいのか。 ・できればホタテウロの受入れに関しては、今現状は運搬して紋別で処分してもらっているが、将来的に町内でも処分が可能となるような調査研究事業を令和6年度から行えるので、その調査の結果によって町内でも処分が可能となれば、令和7年度かは分からないが将来的に町内でも処分ができるような方向になるのではないかと考えているが、これはあくまでも調査研究の結果次第と考えているので、できれば町内で処理できるような方法として町では考えている。
委員 4番 伊勢	・今回の計画どおりいけば令和8年くらいで目途が付くということだが、これから(株)リプロの再資源化方法がきちんとサイクリングできて環境にも負荷がないとなったとして、結果的に(株)リプロはホタテウロをどうする。
水産みどり課主査 岩光	・新しく排出されるウロの処分ということでもいいか。
委員 11番 今西	今まではすべてを堆肥化という処理方法に頼っていたが、(株)リプロでは、ウロとその他の部分を分けて、その他の部分を良質なたんぱく質と捉えて、それを堆肥にするのか、もしくは、その他の資料に転用するのか、その辺を今、分離方法等を含めて検討、検証中である。
委員 11番 今西	・今まで正式ではないので会社名は出せないとのことだったが、今回初めて(株)リプロという会社名が出てきた。こういう会社と契約しました、運転しましたなどの部分についての説明を。
産業振興部次長 小野	・会社の名前が以前は出せなかったのは、これは委託業務であり、委託業者がまだ決定していなかったので出せなかった。今回正式に委託業務として契約を行ったので会社名を出した。この(株)リプロについては、町内にある事業者で、大学と連携しながらこの調査研究を一緒に行ってくれることになるので、今現状、ホタテウロの研究に関しては(株)リプロしかできないということで、特命随契という形で契約を結んだ。
委員 11番 今西	・そういう経緯で(株)リプロという会社が今後、ホタテウロについての研究も含めて対応していく、委託業務をしていくということで、先ほどからの議論になっているので、これを確認させてもらった。
委員 4番 伊勢	・我々の業界でホタテウロのカドミウムっていうのが最大の敵であるので、これを(株)リプロには克服してもらいたいという思いも込めて、前向きに進めていただきたい。
産業振興部次長 小野	それと、(株)ばんけいリサイクルセンターへの業務委託料は令和5年度で3,410万円だがもう少し抑えることはできないか。
委員 11番 今西	・1点目については我々も何とかしてほしいとそう考えている。ただ、この問題については昔からあり、すぐに解決する問題ではないということもある。非常に難しい問題ではあるが、そこはチャレンジする必要があると思い、今年から調査研究を始めているところ。
委員 11番 今西	また、次の業務委託料については、ある程度設計の段階では委託料を上げない方向では考えている。ただ、光熱費などの物価高騰で自然増で上がるものに関してはみなければならぬので、そういったところを差し引いては、なるべく委託料は抑えながら進めたいと考えている。
委員 11番 今西	・(株)リプロという会社と業務委託して今後取り組むということだが、今までのなかで大きな課題として見えてきたのが、保存状況をどのようにしっかりしたものにしていくかということで、今も野外で保存されている部分もあり、これの保護の仕方が課題として残ってきているという

令和6年第3回産業建設常任委員会 要点記録

		気がする。そういう意味で、今後新たに取引する会社との中で、想定外のことが起こったときの責任の所在も含めて業務委託する中で考えていく必要がある。
		今、外で保管されている現物を見た時に、これがいろんな面で大きな負担になっていると思う。ああいったことがあるなしに関わらず、今後取引する中で、想定外のことがあった場合についての取り決めを、当然考えているとは思いますが、常に意識しながら進めていってほしいと思うが、町の考え方は。
産業振興部次長	小野	・委員長の仰ったとおり、委員の皆様も外に堆積されている現地を見ていると思うが、あのように野ざらしになっていて水分を含んだ状態になると、当然後々かかる処分費も上がる可能性も考えられるので、今後、そういったことがないように排出責任も含めて、町がどこまでしっかりとフォローできるのかを考えながら、ホタテウロの処分については進めていきたいと考えている。
		町と皆様にお金のかからない状況が望ましいと思うので、そういったことも含めて、排出されたもの、これは廃棄物になるので、法に基づいてしっかりと責任をもって管理していきたいと考えている。
委員長	11番 今西	・この件については、今、施設の説明もあったので6月定例会前の事務調査の中で現地調査を計画している。その時にでもまた議論できれば。
産業振興部長	佐々木	・現地視察について、先月契約したばかりで6月では少し早く、稼働してある程度たった7月、8月くらいに調査をしてもらえればと思うので、もう一度調整をお願いしたい。
委員長	11番 今西	・この後、委員会協議会の中で話して決めたいと思う。
		他に質疑はないか。
委員	一同	・なし
委員長	11番 今西	10:53 産業振興部終了 休憩
委員長	11番 今西	11:01 再開
		【建設水道部所管事務調査】
委員長	11番 今西	挨拶
建設水道部長	外石	挨拶、職員紹介及び概要説明
委員長	11番 今西	議事1 所管事務調査について
		(1) 第7次別海町総合計画について
建設水道部次長	田畑	・資料により第7次別海町総合計画から令和6年度の管理課所管事業について内容を説明。
事業課長	佐竹	・資料により第7次別海町総合計画から令和6年度の事業課所管事業について内容を説明。
建築住宅課長	廣島	・資料により第7次別海町総合計画から令和6年度の建築住宅課所管事業について内容を説明。
建設水道部次長	新堀	・資料により第7次別海町総合計画から令和6年度の上下水道課所管事業について内容を説明。
委員長	11番 今西	質疑
委員	一同	・なし
委員長	11番 今西	議事2 その他
		(1) 除雪について
建設水道部次長	田畑	・令和5年度の実績について、出勤日数は、町有車70日、民有車21日、人力7日。出勤延べ台数は、町有車499台、民有車555台、延べ人数は84人。このうち、全車出勤は令和4年度より1日多い5日間となっている。
		除雪経費は令和4年度比で約5,000万円の増で、要因は、ドカ雪は少なかったものの風の強い日が多く、吹き溜まりが多数発生したことによる。予算額2億3,602万7,000円に対し、執行額は2億1,806万6,699円、残額1,796万301円で執行率は92.4%

令和6年第3回産業建設常任委員会 要点記録

			となっている。
委員長	11番	今西	・何か確認したいことはあるか。
委員		一同	・なし
委員長	11番	今西	閉会挨拶
委員長	11番	今西	11:30 閉会